

～ オルタナティブ投資情報の金融ポータルサイト「Klug クルーク」調べ～
「FX の証拠金倍率(レバレッジ)規制に関する緊急アンケート」

FX のレバレッジ上限規制に小口投資家層を中心に約85%が反対 大口投資家は「規制実施の根拠説明」によっては、容認の傾向も

全体に「規制根拠の説明」や「レバレッジ以外の規制」を求める声多く、
小口投資家は「FX 取引停止」や「海外流出」への言及が特徴

オルタナティブ投資サービスを提供する株式会社 GCI キャピタル(代表取締役社長 山内 英貴、東京都千代田区 以下 GCI)が運営する、為替などグローバル投資、オルタナティブ投資に役立つニュース、レポート、コラムを提供する金融ポータルサイト「klug クルーク(<http://www.gci-klug.jp>)」が、5月1日から8日の期間に、HPを通じて個人投資家 411 名を対象に「FX の証拠金倍率(レバレッジ)規制に関する緊急アンケート」を実施いたしましたので、結果をお知らせ致します。

また、このアンケートに関連してklugが5月1日に開催いたしましたWebシンポジウム「レバレッジ規制でどうなる？FX業界」の様子を<http://www.gci-klug.jp/kisei>より、動画をダウンロードいただけます。

「FX の証拠金倍率(レバレッジ)規制に関する緊急アンケート」結果概要

■FX 取引における証拠金倍率(レバレッジ)の上限を 20～30 倍前後とする規制について、有効回答の 84.7%が「反対」。

■運用額 20 万円未満の回答者は「反対」が 90.8%を占める一方、運用額が大きくなるほど「反対」の割合が低下する傾向にあり、500 万円以上の場合、「反対」の割合は 76.6%まで低下。

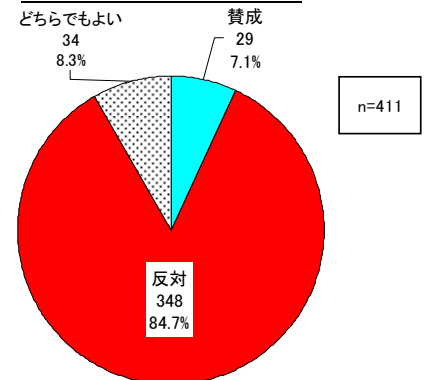
■レバレッジ規制が実施された場合の回答者の対応として、「FX 取引 1 回あたりの取引金額を変える」の回答割合が最も高く、次いで「とくに何もしない」、「FX 取引をやめる」が続く。

■運用額 20 万円未満の回答者では「FX 取引をやめる」が高い割合を示す一方で、運用額 500 万円以上の回答者では「とくに何もしない」が高い割合を示す結果。

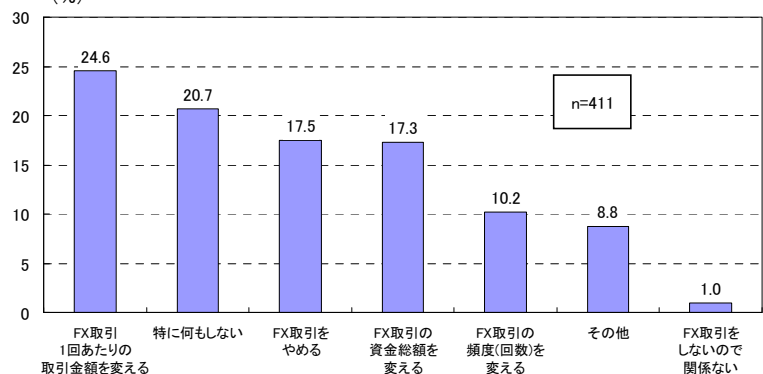
■レバレッジ規制のあり方に関する自由回答 (246 件)の傾向。

- (1)投資は自己責任が原則だから規制は不要(61 件)
- (2)レバレッジ規制を実施する理由・根拠が不明(44 件)
- (3)レバレッジ規制の前に他規制を実施すべき(42 件)
- (4)レバレッジ規制の上限を報道内容(20 倍から 30 倍)よりも高く設定すべき(33 件)
- (5)レバレッジ規制が実施されるのなら海外の FX 業者を利用する(22 件)
- (6)国内 FX 業界の衰退を懸念(21 件)
- (7)やむをえない・仕方がない(19 件)

レバレッジ規制の賛否



レバレッジ規制への対応



※次のページに自由回答の抜粋がございます。

～自由回答～

●証拠金倍率はFX業者から一方的に強制されるものではなく、あくまでも投資家の自己裁量により自由に選択できる幅であると思います。証拠金倍率の上限を規制することにより投資家の自由度が大きく損なわれることになります。
(男性、30歳代、運用額:3000万円～5000万円)

●FXは自己責任です。損害を被るのが必ずしも弱者ではありません。過保護は国の負担を増大させるだけ。
(男性、30歳代、運用額:50万円～100万円)

●何故規制するのか？理由(規制するメリット、デメリット)を明確に国民に説明すべきである。
(男性、60歳代、運用額:50万円～100万円)

●規制をすることによってどのような効果か、のぞめるものか明確にしてから言ってほしい。
(女性、20歳代、運用額:無回答)

●50倍以下に規制されたら海外業者に移ります。(男性、30歳代、運用額:50万円～100万円)

●規制がかかれば、海外業者が有利という情報はあつというまに広がるにちがいない。海外に資金が逃げ、税金の回収もしづらくなるのは明らか。総合的に考え、業者や投資家、国にとってもデメリットの方が大きい気がする。
(男性、30歳代、運用額:300万円～5000万円)

●金融庁はレバレッジ規制以前に、不正な呑み行為や一部顧客に対する約定拒否等、規制すべき事が沢山あるはず。
(男性、20歳代、運用額:20万円未満)

●投資家保護を目的とするのなら確実にロスカットが執行されることとレート操作などが行われないように指導監視を徹底すべき。(男性、20歳代、運用額:50万円～100万円)

●まず・信託保全の義務化・取引所為替証拠金取引との税率の一本化などやるべきことが多数あり、なぜレバレッジ規制が先に来るのか不明だ。(男性、20歳代、運用額:300万円～500万円)

●FX会社の過当競争を防ぐため、ある程度の上限を設けるのは必要だが、現状を考えると100～200倍あたりが妥当ではないか。もしやるのなら、初心者には20～30倍で、別途上級者向けには承諾書を取ればよいのでは。
(男性、20歳代、運用額:300万円～500万円)

●レバレッジ400～600倍などを規制するのはけっこうですが、トレーダーの選択肢として最低100倍はあってもいいと考えます。(男性、20歳未満、運用額:20万円未満)

※グラフなどレポート詳細は <http://www.gci-klug.jp/kisei> よりご覧いただけます。

(性)

	実数(人)	構成比(%)
男性	366	89.1
女性	43	10.5
無回答	2	0.5
計	411	100.0

(年齢)

	実数(人)	構成比(%)
20歳未満	47	11.4
20歳代	135	32.8
30歳代	133	32.4
40歳代	54	13.1
50歳代	27	6.6
60歳代	6	1.5
無回答	9	2.2
計	411	100.0
(再掲)40歳以上	87	21.2

(FXの経験)

	実数(人)	構成比(%)
ある	400	97.3
ない	11	2.7
計	411	100.0

(FX業者を選ぶ際のレバレッジ)

	実数(人)	構成比(%)
検討材料にする	351	85.4
検討材料にしない	60	14.6
計	411	100.0

「FXの証拠金倍率(レバレッジ)規制に関する緊急アンケート」調査概要

- ・調査実施期間 : 5月1日(金)午前11時～5月8日(金)午前10時
- ・調査対象 : <http://www.gci-klug.jp/kisei> にアクセスしたユーザー(詳細データ参照)
- ・標本数 : 464件(有効回答者数:411件<有効回答率:88.6%>)
- ・調査方法 : WEBページに掲載された質問票によるアンケート調査

【株式会社GCIキャピタル 会社概要】

名称/URL	株式会社GCIキャピタル http://www.fxcm.co.jp/
設立	2005年6月1日
業務内容	子会社を通じた投資業務・投資サービス業務、これに付随する業務
本社所在地	東京都千代田区西神田3-8-1 千代田ファーストビル東館12F
資本金	15億215万円
代表者	山内 英貴
グループ会社	株式会社GCIアセット・マネジメント、株式会社GCIテクノロジー、GCI Investment Management Singapore Pte.Ltd.、GCI Technology USA, Inc.
グループ役職員数	109名(2009年3月末現在)

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社GCIキャピタルCEO室 Klugチーム チーフエコノミスト 村田雅志

Mail: masashi.murata@gci.jp TEL:03-3556-5688